

2017年8月から2022年9月までに当院で

人工股関節全置換術（THA）を施行した患者様へ

「人工股関節全置換術を受ける患者における術前深部静脈血栓症の

発生率と危険因子の検討」

臨床研究へのご協力をお願い

1. はじめに

日本では人工股関節全置換術（THA）を施行される方が年々増加しています。術後に最も多くみられる術後合併症の一つに、深部静脈血栓症（DVT）と肺塞栓症（PTE）を含む静脈血栓塞栓症（VTE）があります。臨床実践ガイドライン*によると、THA手術そのものがVTEの高リスク因子であると考えられています。VTEの病因や病態はまだ十分に解明されていませんが、DVTがVTE発症に重要な役割を果たすことが知られています。通常、術後のDVTの診断と治療が注目されていますが、術後だけでなく、術前DVTの存在もPTEなどの生命を脅かす疾患につながる可能性があるため、注意が必要です。

したがって、術前にDVTリスクの高い患者を特定し、術前より適切な治療を行うことは、術後の血栓塞栓性疾患に関わる合併症を予防し、生存率を向上させることができるため、大きな価値があると考えています。

* American College of Chest Physicians

2. 研究の目的

人工股関節全置換術（THA）のために入院した患者における術前深部静脈血栓症（DVT）の発生率と危険因子を特定することです。

3. 研究の方法

この研究では、みなさまのカルテ等に記載されている情報（手術時年齢、身長

体重などの患者情報、術前検査データ(採血、下肢静脈エコー)などを電子カルテから抽出させていただきます。

データは匿名化して解析しますので、個人情報には確実に保護いたします。この研究は手術を行う際に施行する通常検査のデータを活用するもので、追加検査をお願いすることはありません。

解析結果は、学会や論文等で発表する予定です。発表する際には、データは個人情報とは完全に分離した形で扱い、個人情報は含まれず患者様やご家族の個人が特定されることもありません。また他の研究への利用もありません。この研究のために使われる患者様・ご家族の情報は全て、本研究の最終の公表をされた日から5年経過後、適切に廃棄いたします。

4. 研究組織

研究責任者	東京都健康長寿医療センター	整形外科	部長	宮崎 剛
研究分担者	東京都健康長寿医療センター	整形外科		金子 泰三
	東京都健康長寿医療センター	整形外科		時村 文秋
	東京都健康長寿医療センター	整形外科		中村 伸哉

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

所在地 〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

電話番号 03-3964-1141 (代表) 受付日時：平日 9 時～17 時

研究担当者：整形外科 時村 文秋
整形外科 金子 泰三